

1 新しい文化会館の整備に関する基本構想（抜粋）

第2章 基本構想

1 基本理念

みんなが集い、創り、伝える、感動の飯田ひろば

新しい文化会館は、市民の皆さんが舞台芸術で心が満たされる鑑賞の機会を提供します。そこでは、伝統芸能や人形劇など飯田ならではの文化を発展させ、さらに新たな舞台芸術を創造し、人材育成をも担う施設機能を備えることを目指します。そして、魅力にあふれた「飯田ひろば」を目指し、舞台芸術の振興だけにとどまらず、地域を担う人材を発掘・育成し、文化力の高いまちをつくり、地域発展の活力を生み出すことへとつながっていきます。

【基本理念が描いている新しい文化会館】

- 舞台芸術活動に関心のある方・ない方、年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もが日常的に集って、気軽に交流できる開かれた文化会館
- 市民の方、飯田出身で活躍されている方、飯田に魅力を感じて関わってくださる全国や世界の方々とつながり合い、飯田ならではの舞台芸術を創造し、発信していく場所
- 伝統文化や地域外の文化を取り入れながら独自の文化を生み出す、飯田の特長を後世に伝える場所
- 非日常の舞台に立って、自分の存在や思いを他者に伝える特別な場所
- 舞台芸術活動を担う人を掘り起こし、世代を越えて伝えていく場所

… 楽しさや喜びを感じて、より心豊かな人生となってほしい！

誰もが集い、創り、伝える活動がいつも繰り広げられ、ワクワク！ドキドキ！が生まれ続ける飯田ひろば

第2章 基本構想

3 整備の方向性

(1) 施設整備の考え方

基本理念に基づく5つの基本方針「集う、観る、創る、伝える、育む」を実現するために必要な機能の設置や、施設諸室の適切な配置などを行い、飯田らしい事業展開ができる施設を目指して整備します。

また、世代やジャンルをこえた交流活動を行う施設として、日常的に誰もが安全に安心して利用できるよう防災やユニバーサルデザインにも配慮するとともに、ゼロカーボンシティにふさわしい環境配慮型の施設とする必要もあります。

(2) 施設機能の整理

新しい文化会館に求められる事業や機能から、下図のとおり望まれる施設が整理されます。

5つの基本方針	事業	機能	主に望まれる施設
集う	交流事業	交流促進機能	■メインホール さまざまな舞台芸術の鑑賞、市民団体の活動発表などに利用できる大ホール
観る	鑑賞事業	鑑賞機能	■サブホール 舞台設備を備えた中小規模のホール
創る	創造事業	創造支援機能	■オープンスペース 多くの市民が日常的に、気軽に立ち寄れるスペース（情報コーナー、ギャラリー、カフェ、展示スペース、広いエントランスロビーなど）
伝える	普及事業	管理運営機能	■創造支援諸室 リハーサル室、スタジオや工作室など、舞台芸術作品を創る・練習する、小規模に発表することができる複数の諸室
育む	情報発信事業		■施設管理の事務室 事務室や機械室など施設管理
	育成事業		
	提供事業		

2 基本構想を具現化するために必要なホール構成や諸室

基本構想における「施設機能の整理」			規模想定					
機能	想定する活動等	施設例示	建物			駐車場		敷地面積
			席数	延床面積	必要面積※2	台数※3	面積	
鑑賞	さまざまな舞台芸術の鑑賞、市民団体の活動発表等に利用できる	メインホール※1	1300 席 現在程度	約 4,650 ㎡	約 3,500 ～4,670 ㎡	460 台	約 11,500 ㎡	約 15,000 ～16,170 ㎡
	人形劇や音楽教室発表会等の中小規模の舞台芸術の鑑賞、市民団体の活動発表等に利用できる。加えて研修や集会等にも利用できる	サブホール※1	400～500 席 鼎・旧市公民館程度	約 1,650 ～1,750 ㎡	約 1,240 ～1,750 ㎡	140～ 180 台	約 3,500 ～4,500 ㎡	約 4,740 ～6,250 ㎡
		人形劇場※1	200～300 席 現在程度	約 1,450 ～1,550 ㎡	約 1,130 ～1,590 ㎡	70～ 110 台	約 1,750 ～2,750 ㎡	約 2,880 ～4,340 ㎡
交流促進	多くの市民が日常的に、気軽に立ち寄れる	オープンスペース 情報コーナー、ギャラリー カフェ、展示スペース エントランスロビー		約 6,750 ～6,800 ㎡	約 5,070 ～6,800 ㎡			約 5,070 ～6,800 ㎡
創造支援	舞台芸術作品を創る・練習する、小規模に発表することができる	リハーサル室、スタジオ 練習室、工作室、会議室						
管理運営	適切な施設管理ができる	事務室、機械室、共通エリア						
※1 施設構成は舞台・客席・楽屋・ホワイエ ※2 建築面積（延床面積の 60%程度）と建物以外の面積の合計に			合計	約 14,500 ～14,750 ㎡	約 10,940 ～14,810 ㎡	670～ 750 台	約 16,750 ～18,750 ㎡	約 27,690 ～33,560 ㎡

※1 施設構成は舞台・客席・楽屋・ホワイエ
※2 建築面積（延床面積の 60%程度）と建物以外の面積の合計に
商業系用途地域と住居系用途地域を考慮した面積
※3 席数の 35%程度

※【イメージ】規模想定の数地面積と市役所本庁舎敷地との比較（一か所に一体的に整備するときの規模感）

